

福知山市新文化ホール基本計画 (案)

令和5年〇月
福知山市

目次

| | | |
|------------|------------------------------|-----------|
| 第1章 | 基本計画策定の背景 | 1 |
| 1 | 新文化ホールの整備について | 1 |
| 2 | 基本計画策定の経緯 | 1 |
| 3 | 基本構想において定めた新文化ホールの基本理念 | 2 |
| 第2章 | 施設計画 | 4 |
| 1 | 施設構成 | 4 |
| 2 | ホール機能 | 4 |
| 3 | 創造活動機能 | 6 |
| 4 | 交流機能 | 7 |
| 5 | 管理運営機能 | 8 |
| 6 | 防災対応機能 | 8 |
| 7 | 駐車場 | 9 |
| 8 | 全体施設規模 | 9 |
| 9 | その他 | 10 |
| 第3章 | 建設予定地 | 11 |
| 1 | 建設予定地の選定 | 11 |
| 2 | 建設予定地の概要 | 11 |
| 3 | 建設予定地における施設整備の考え方 | 13 |
| 第4章 | 管理運営に関する考え方 | 14 |
| 1 | 管理運営の基本的な考え方 | 14 |
| 2 | 事業の方向性 | 14 |
| 3 | 運営組織等の方針 | 15 |
| 4 | 施設の利用規則の考え方 | 16 |
| 5 | 市民参加に関する考え方 | 17 |
| 第5章 | 概算建設工事費と整備手法の検討 | 18 |
| 1 | 概算建設工事費 | 18 |
| 2 | 整備手法の検討 | 18 |
| 第6章 | 事業スケジュール | 20 |
| 1 | 事業スケジュール | 20 |

第1章 基本計画策定の背景

1 新文化ホールの整備の必要性について

福知山市厚生会館は市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与することを目的として昭和37（1962）年の開館以来、音楽をはじめとした舞台芸術の鑑賞、地元の活動団体や学校等による音楽や演劇、展示会等の発表、各種大会や式典の場として多目的に利用されてきました。

しかし、公共施設整備の進展や社会情勢の変化、「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へと市民の価値観も変化しているなかで、厚生会館に求められる用途も変化し、より文化活動に適した施設であることが期待されるようになってきました。厚生会館は文化活動に特化した施設計画になっておらず、現代的な舞台演出に対応した音響性能や舞台機能を有していないことから、舞台芸術に対応した施設整備の声が高まり、早急な対応が求められています。

また、平成12（2000）年～平成13（2001）年に大規模改修を行いました。開館から既に60年以上が経過し、建物及び設備等の老朽化等の状態から、改修が困難となっています。そのため、令和3年3月に策定した公共施設マネジメント個別施設計画では「更新（建替）」の方針で整理しています。これを受け、「更新（建替）」にあたっては社会情勢、文化芸術や劇場に期待される役割への対応や、地域の文化を振興する、また市民の交流、憩いの場となるよう新文化ホールとしての整備を進めることとしました。更には、まちづくりの観点から都市の魅力を向上させ、まちなかににぎわいを創出するため、多様な人々が集い、交流する「居心地がよく歩きたくなる」空間づくりを目指します。

2 基本計画策定の経緯

新文化ホールの整備に向けて、令和4（2022）年7月に地域の文化関係者や有識者で構成する「福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）を設置しました。

検討委員会では、文化関連団体や大学生・高校生へのヒアリング、市民ワークショップやWebアンケート、パブリックコメントなどによる意見聴取をふまえて議論を重ねてきました。この検討委員会等の議論や意見に基づき、施設の基本理念等を取りまとめ、令和4（2022）年12月に「福知山市新文化ホール基本構想（以下、「基本構想」という。）」を、策定しました。

その後引き続いて、検討委員会において施設の基本理念を実現するために必要な施設の機能や規模、施設構成等について具体的に議論を重ねて参りました。そして、新文化ホールで実施すべき事業や活動から、施設に必要な規模や機能、諸室等の施設構成や建設予定地の選定、管理運営に関する基本的な考え方等を整理しました。これらの検討委員会の議論に基づき、市では『福知山市新文化ホール基本計画（案）（以下、「基本計画（案）」という。）』を作成しパブリックコメントなどの意見も参考にして令和5（2023）年〇月に『福知山市新文化ホール基本計画』を策定しました。

| | |
|-----------------------------|---------------------------|
| | 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会設置 |
| 令和4(2022)年7月22日 | 第1回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和4(2022)年8月23日 | 第2回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和4(2022)年9月20日 | 第3回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和4(2022)年10月24日 | 第4回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和4(2022)年 11月15日～12月14日 | 福知山市新文化ホール基本構想パブリックコメント募集 |
| 令和4(2022)年12月22日 | 第5回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和4(2022)年12月 | 福知山市新文化ホール基本構想策定 |
| 令和5(2023)年2月21日 | 第6回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和5(2023)年3月28日 | 第7回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和5(2023)年4月27日 | 第8回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和5(2023)年5月25日 | 第9回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和5(2023)年〇月～〇月 | 福知山市新文化ホール基本計画パブリックコメント募集 |
| 令和5(2023)年7月〇日 | 第7回新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会 |
| 令和5(2023)年〇月 | 福知山市新文化ホール基本計画策定 |

3 新文化ホールの基本理念

(1) 基本理念

人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ
～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～

新文化ホールは、福知山市における芸術文化、歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興を推進する拠点として、また福知山市の未来を見据え、次世代を担う子どもたちをはじめ市民の夢や希望の実現を目指します。

芸術鑑賞の機会の充実、文化に触れるきっかけづくりや様々な活動支援の提供、文化活動を通じた多世代交流の活性化、日常的に憩える場づくり等、文化を振興するための環境を整備するとともに、福知山市の様々な歴史資源や文化資源を活かした新たな活動の創造等、魅力を築く拠点づくりを進めます。

福知山市、さらに北近畿エリアを視野に広域で人と人をつなぎ、教育やまちづくり等、多様な分野をつなぎ、過去と現在・未来をつなぐ等、様々な「つなぎ」を生み出すことによって、お互いを刺激し、福知山市の新しい文化、ひいては福知山市の未来を創造する拠点となることを目指します。

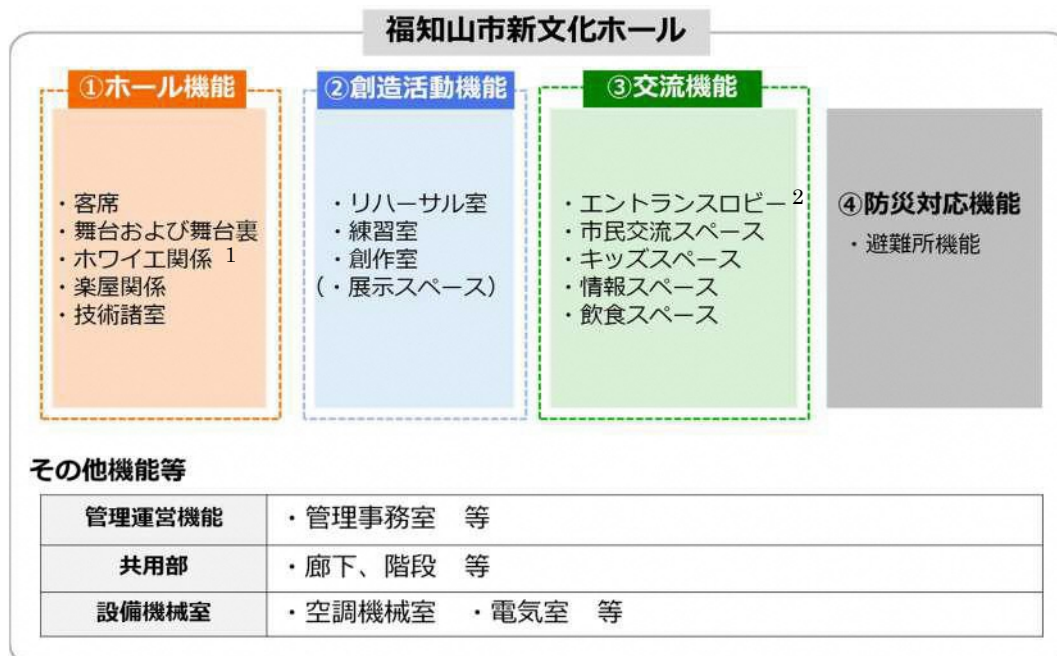
(2) 基本的な役割

| | |
|--|--|
| 鑑賞・体験 | 「知る・見る・感じる」機会の充実から新たな活動を「つくり・つなぐ」文化振興の拠点 |
| <p>新文化ホールが鑑賞・体験・創造活動の場となるよう、良質な文化芸術の鑑賞から、気軽に参加できる講座やワークショップ、市民が舞台に立つ作品づくりなど、文化芸術に触れる様々な機会を提供します。また、市民の活動に対して、情報や交流機会の提供等を積極的に行い、日常的な練習や成果発表を支援します。</p> <p>鑑賞・体験から主体的な創造活動まで一貫して行える環境を整え、福知山市の文化振興を推進します。</p> | |
| 人材育成 | 次世代に活動を「つなぐ」コーディネーターの配置 |
| <p>これからの福知山市の文化振興の担い手となる若い世代や、子どもたちの活動を支援するために、本市の文化活動を牽引する人材の育成が不可欠です。そのため、専門家と協働した講座を実施するとともに、活動のアドバイスや、人と人、人と活動等をつなぐ役割を担うコーディネーターの配置を検討します。</p> | |
| 交流 | 市民の憩いの場の創出による、出会いや交流の促進 |
| <p>市民がいつでも自由に、気軽に立ち寄り、日常的ににぎわい憩える居場所とします。あわせて、訪れた市民が文化芸術に触れやすい空間や事業の提供に取り組み、文化芸術との出会いや文化芸術を通じた交流を深める場とします。</p> | |
| 創造 | 福知山市の地域資源を活かした新たな魅力を築く |
| <p>福知山市に息づく豊富な歴史資源や地域の伝統文化の活用、分野を超えた連携等を行うことにより、福知山市独自の新たな文化活動や魅力を築きます。これらの地域資源の保存・継承・発展・新しい発見により、文化による地域の振興、活性化を推進します。</p> | |
| 安心・安全 | 「幸せを生きる」安心・安全なまちづくりへの寄与 |
| <p>観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、関連する分野とも連携し、市民が「幸せを生きる」まちづくりに寄与します。</p> <p>また、災害対策等を十分に考慮し、安心・安全な施設整備を行います。</p> | |

第2章 施設計画

1 施設機能

福知山市新文化ホールは、以下のような施設機能とします。



2 ホール機能

ホール機能については、幅広い音楽利用に対応し、楽器の生音の響きを活かすことができるすぐれた音響性能を備えたホールとします。

また、多様な舞台芸術などに対応できる機能も有したホールとします。

(音楽利用をはじめとした多様な舞台芸術などに対応できるものとします。)

(1) ホール形式

・ホールは、音楽をはじめ多様な舞台芸術に対応するため、プロセニウム形式³とします。

(2) 客席

- ・客席は鑑賞条件などを考慮し、段床固定式とします。
- ・客席は鑑賞に適した座り心地の良い座席とし良好な鑑賞環境を確保します。
- ・車いす席を設置し、高齢者や障害がある方も使い易くします。
- ・演技者の表情が分かり、舞台と客席の一体感が得られる空間となるために客席規模については、600席程度とします。

¹ 公演の開演前や休憩の時間を過ごすことができる劇場の入口から観客席までの間の空間のこと

² 建物の入口を入ってすぐの公共スペースのこと

³ 様々な舞台演出に対応するため、舞台と客席の間に建築的な額縁を作って空間を分ける形式のこと

(3) 舞台および舞台裏

- ・市民の吹奏楽等の発表から、プロの公演まで幅広く対応できる広さを確保します。
- ・可動式の音響反射板⁴を設置し、優れた音響性能を備えます。
- ・舞台袖は、音楽だけでなく、演劇など多様な舞台芸術に対応できる広さを確保します。
- ・舞台備品庫、楽器庫は舞台への搬出入に配慮します。
- ・搬入ヤードは4tトラックに対応し、舞台への搬出入に配慮した位置に設け、ウイング車に対応した天井高とします。

(4) 関連諸室

1) ホワイエ関係

- ・来場者が開演前、幕間時間に居心地良く過ごせる空間とします。
- ・主催者事務室は、来場者の入退場管理がしやすい位置に設けます。
- ・客用トイレは十分な数の便器を設けます。

2) 楽屋関係

- ・多様な出演者数の演目に対応するため、異なった広さで複数の部屋を設けます。
- ・出演者がくつろぐためのラウンジ空間を設けます。
- ・舞台へのアクセスが良い位置に設けます。
- ・楽屋以外の用途にも使えるように検討します。

3) 技術諸室

- ・調光操作室、音響調整室は舞台が見通せる位置とし、操作卓⁵などの機材を置くことができる十分な広さを確保します。

⁴ オーケストラなどの生音での音楽利用のとき、舞台上の音を客席まで反射させるために設置する可動の壁や天井のこと

⁵ 音響、照明を調整するためのつまみ等がついた卓のこと

(5) まとめ

表 1 ホール機能のまとめ

| 種別 | 諸室等 |
|----------|---|
| 客席 | 客席、特別鑑賞室 |
| 舞台および舞台裏 | 舞台、舞台備品庫、楽器庫、照明・音響器具庫、搬入ヤード |
| ホワイエ関係 | ホワイエ、主催者控室、客用トイレ、ホワイエ備品庫 |
| 楽屋関係 | 楽屋、スタッフ控室、ラウンジ、楽屋事務室、トイレ、シャワールーム、楽屋備品庫、洗濯室 |
| 技術諸室 | 調光操作室、音響調整室、投映室 照明投光室（フロントサイド ⁶ 、シーリングスポット ⁷ 、ピンスポット ⁸ ）、アンプ室、技術者控室 |
| 想定面積 | 2,300 m ² 程度 |

3 創造活動機能

市民の日常的な創造・発表活動の場として、以下のような機能を持つ諸室を計画します。

- ・日常的な練習の場として楽器演奏やダンス等、音の出る活動に対応した防音性能を備えた部屋
- ・ホールの利用者が舞台と同規模の広さの空間でリハーサルを行ったり、小規模な発表に対応できる部屋。
- ・美術活動に対応し、作品を展示することができるスペース
- ・その他研修や会議などに対応する部屋等

(1) 諸室・スペースの構成

- ・音楽や演劇などを中心とした多様な規模の文化活動の練習や発表等に対応するため、様々な広さの部屋を設けます。
- ・施設のコンパクト化のため各諸室スペースの重ね使い（複数用途に対応）に配慮します。
- ・市民交流プラザなどの市内の他施設との機能分担に配慮した諸室構成とします。

(2) 諸室・スペースの考え方

1) リハーサル室

- ・ホールの建築的開口幅、舞台奥行きと同程度の幅、奥行きを確保します。
- ・小規模な発表会や演奏会などに対応します。

⁶ 客席側面の壁から舞台上を照らすために設けられる照明のこと

⁷ 客席の天井から舞台上を照らすために設けられる照明のこと

⁸ 舞台上の演者にピンポイントで照射するスポットライトのこと

- ・音楽や舞踊、演劇などの利用にも対応します。
- ・ホールや諸室への影響を考慮して、防音性能を確保します。
- ・倉庫など、必要諸室の一体的な配置を検討します。
- ・展示や会議などの利用にも対応します

2) 練習室

- ・楽器演奏などに対応するため、防音性能を確保した室も計画します。
- ・利用人数や用途に合わせて複数の広さの部屋を確保します。
- ・電子楽器や生音の音楽練習など、部屋の利用用途に合わせた内装や設備とします。

3) 創作室

- ・絵画や華道など水を使用する用途や、工作などの創作活動に対応します。
- ・文化活動や会議利用など、多様な活動に対応します。

4) 展示スペース

- ・リハーサル室やロビー、ホワイエなどを使って展示が行えるよう工夫します。

(3) まとめ

表2 創造活動機能のまとめ

| 種別 | 諸室等 |
|--------|-------------------------|
| 創造活動機能 | リハーサル室、練習室、創作室、(展示スペース) |
| 想定面積 | 500㎡程度 |

4 交流機能

誰もが気軽に訪れ、施設に賑わいをもたらす場として、以下の機能を持つスペースを設置します。

- ・光が入る明るいロビーや市民の憩いの場となる交流スペース
- ・市の文化情報に触れることができるスペース
- ・飲食や物販のためのスペース

(1) 諸室・スペースの構成

施設のコンパクト化のため、各スペースを多用途に利用できるようにします。

(2) 諸室・スペースの考え方

1) エントランスロビー

- ・施設の催しや空き状況を確認したり、展示などに自由に活用することができるようにします。

2) 市民交流スペース

- ・市民が気軽に訪れ、時間を過ごすことができるような環境を整備し、市民の自由な交流が生まれる空間とします。
- 3) キッズスペース
 - ・小さな子どもが遊ぶことができ、子育てに関する情報を提供することができるようにします。
 - 4) 情報スペース
 - ・文化関連図書や市内外の文化情報などを提供・発信できるようにします。
 - 5) 飲食スペース
 - ・自動販売機やミニキッチンなどが設置可能な飲食スペースを設けます。

(3) まとめ

表3 交流機能のまとめ

| 種別 | 諸室等 |
|------|---|
| 交流機能 | エントランスロビー、市民交流スペース、キッズスペース 情報スペース、飲食スペース |
| 想定面積 | 300㎡程度 |

5 管理運営機能

施設全体を円滑に管理運営するため、以下の諸室を設置します。

(1) 諸室・スペースの構成及び考え方

1) 管理事務室

- ・活動の企画・運営、施設全体の維持管理、諸室貸し出しの管理に対応します。
- ・受付カウンター、打合せスペースを設置します。
- ・市民が施設運営に参加できるスペースを設置します。

(2) まとめ

表4 管理運営機能のまとめ

| 種別 | 諸室等 |
|--------|--------|
| 管理運営機能 | 管理事務所 |
| 想定面積 | 100㎡程度 |

6 防災対応機能

台風・水害などの災害に備えた防災対応機能を有する施設とします。また、防災対応機能関連諸室は想定浸水深以上の高さに設置します。

(1) 諸室・スペースの構成及び考え方

1) 避難所機能（防災対応機能）

- ・周辺地域の市民が一時的な避難に使える防災対応機能スペースを、1000年に一度の浸水深よりも高い位置に確保します。

(2) まとめ

表5 防災機能のまとめ

| 種別 | 諸室等 |
|------|-----------------------|
| 防災機能 | 避難所機能 |
| 想定面積 | 100 m ² 程度 |

7 駐車場

駐車台数については、敷地内に確保できる台数に加え、周辺公共施設駐車場の共用、民間時間貸し駐車場の活用等により、駐車場機能を補完します。

また、車いす利用者や高齢者等の利用や送迎を想定した区画や動線に配慮します。

8 全体施設規模

全体施設規模は、上記各機能想定面積に共用部と設備機械室を加え、以下表のとおりとします。

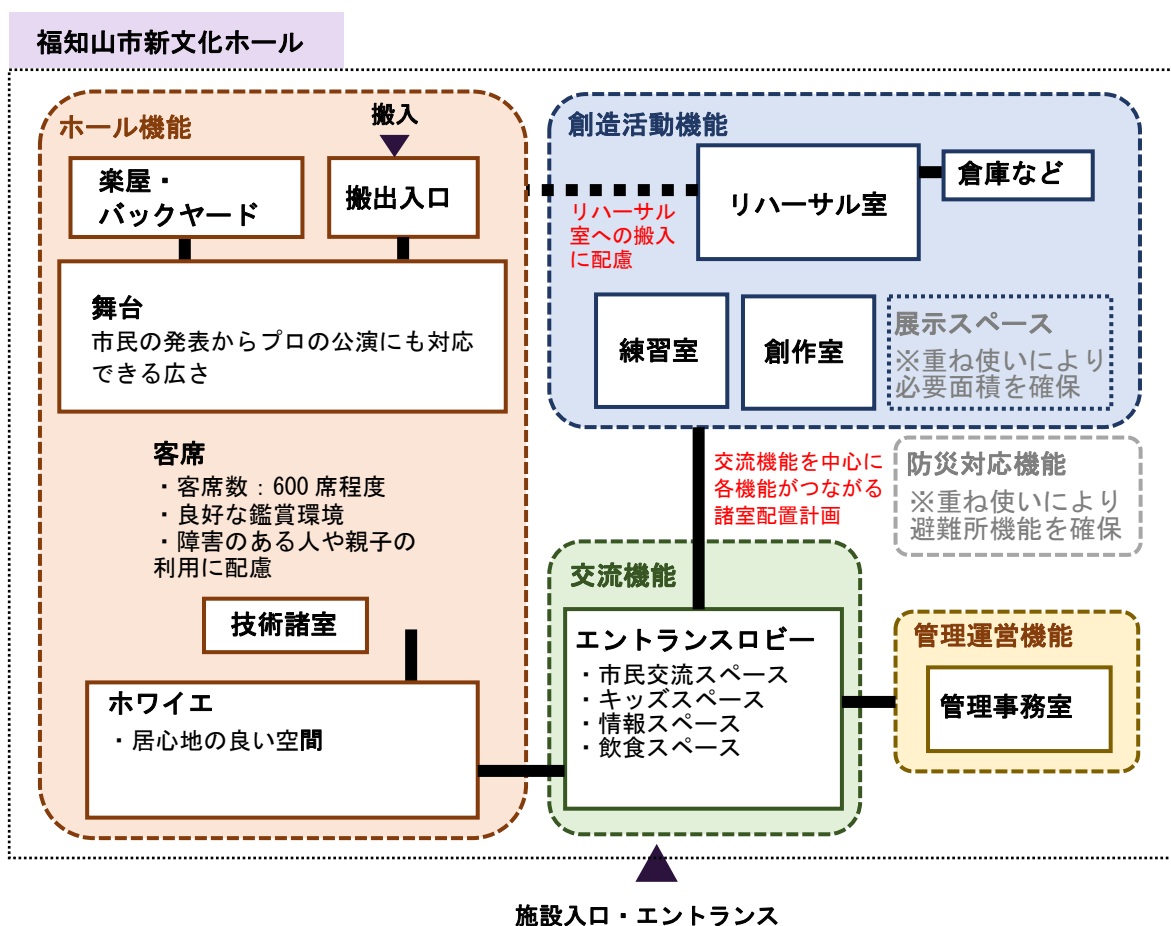
表6 施設全体まとめ

| 種別 | 諸室等 | 面積 |
|---------------|--|------------------------------|
| ホール機能 | 客席、舞台および舞台裏、ホワイエ関係、楽屋関係、技術諸室 | 2,300 m ² |
| 創造活動機能 | リハーサル室、練習室、創作室、 (展示スペース) | 500 m ² |
| 交流機能 | エントランスロビー、市民交流スペース、キッズスペース、情報スペース、飲食スペース | 300 m ² |
| 管理運営機能 | 管理事務所 | 100 m ² |
| 防災対応機能 | 避難所機能 | 100 m ² |
| 機能想定面積 | | 3,300 m² |
| 共用部 | | 1,100 m ² |
| 設備機械室 | | 600 m ² |
| 施設想定面積 | | 5,000 m²程度 |

9 その他

- ・施設全体をユニバーサルデザイン⁹に配慮した計画とします。
- ・内装やオープンスペースの家具、キッズスペースの遊具などについて積極的に府内産木材を活用し、施設整備に配慮します。
- ・本市が実施している事務・事業に伴って排出するエネルギー起源の温室効果ガスの削減目標や削減に向けての取組などを定める「福知山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、太陽光発電システムなど、自然エネルギーを積極的に活用するとともに、高効率な設備の採用など、施設の整備・運営における環境負荷の低減に努めます。施設としてのZEB認証取得を目指します。
- ・以下のように、施設を訪れる市民の交流をより促進するために交流機能やホール機能をはじめとした各機能が一体感をもつ施設構成とします。

図1 施設機能間の連携イメージ



⁹ 文化・言語・国籍や年齢・性別などの違い、障害の有無や能力差等を問わずに利用できることを目指した施設や情報（サイン）のデザインのこと

第3章 建設予定地

1 建設予定地の選定の経緯

建設候補地については、基本構想で市有地を活用する方向性としたことから市内6カ所を建設候補地にあげ、検討委員会において比較検討を行いました。

その中で、市街地エリアに立地し、利便性が高く日常的に立ち寄りやすいこと、周辺の公共施設との連携やまちなかの回遊が容易であること、御霊公園に隣接し、歴史的にも文化の中心となってきたエリアであり、これまでの本市におけるまちづくりとの整合性を図ることができることから、「厚生会館用地」を建設予定地とします。

当該地は60年以上の間、厚生会館が立地してきたことから、文化などの拠点として市民に馴染みがあり、新文化ホールの建設にあたって、市民理解や行政上の手続きなどが円滑に進むと見込まれることから、早期の事業実施が可能になると考えています。(資料編に比較表)

2 建設予定地の概要

(1) 基本情報

表7 建設予定地基本情報

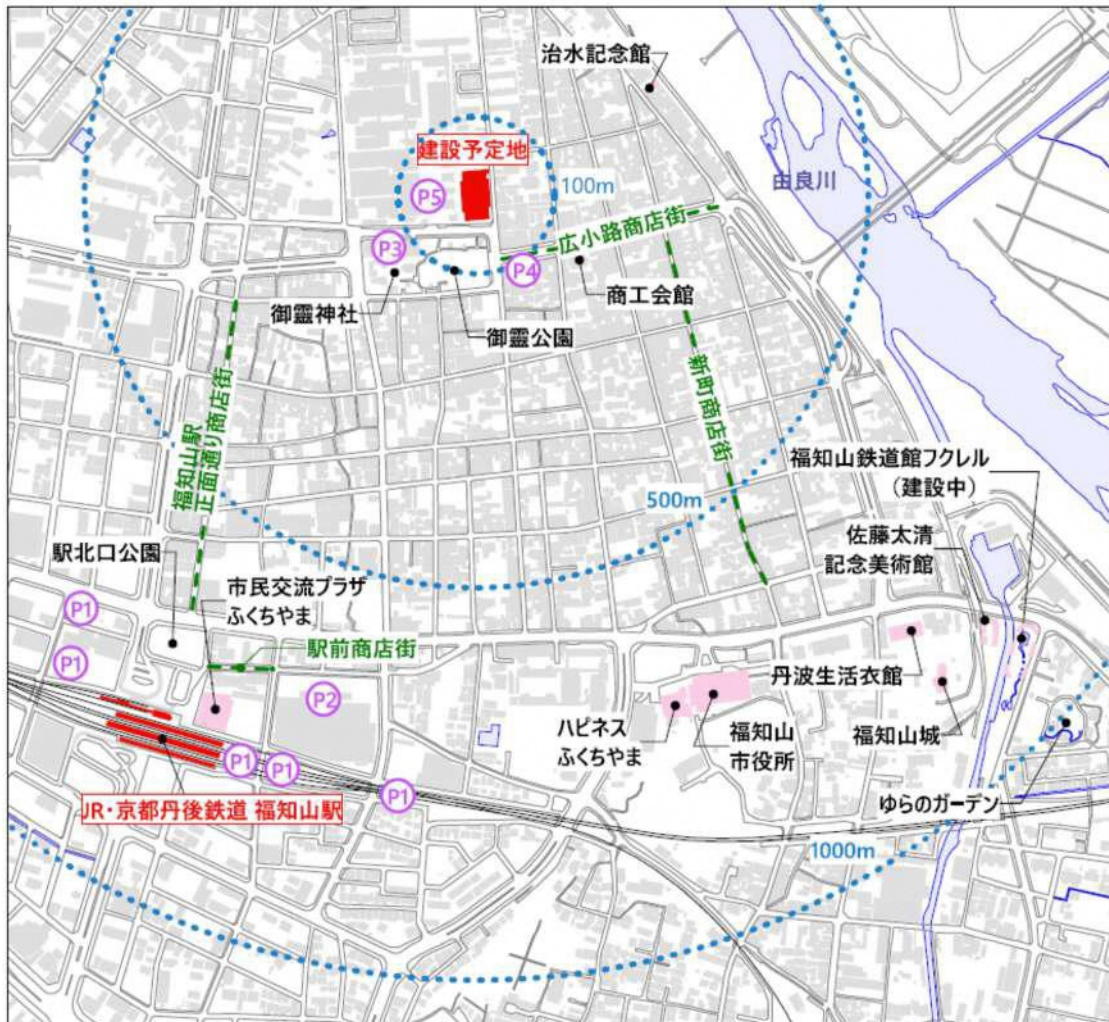
| | | | |
|-------|-------------|-----------------|---|
| 都市計画 | 用途地域 | | 準工業 |
| | 建蔽率/容積率 | | 60(70)/200 |
| | 日影規制 | | あり(東側隣地:近隣商業) |
| 行政計画等 | 浸水深 | 1000年/100年 | 7.51m/3~5m |
| | 防災機能(近隣避難所) | | あり(商工会館) |
| | 立地適正化計画区域 | | 都市機能誘導区域 |
| 敷地 | 規模形状等 | 面積(図面またはGIS) | 2,964㎡ |
| | | 形状(図面またはGIS) | 東西38m 南北66m~68m |
| | 接道条件 | 前面道路(図測) | 南:2車線(W12m) 東:2車線(W5m) |
| | | 接道長さ(図測) | 105m |
| | | 搬入車両アクセス | 可 |
| 立地 | アクセス | 駅からの距離 | 約1km |
| | (利用者) | バス | 厚生会館前バス停(京都交通、日交、丹海、庵我) |
| | 周辺環境 | 商業・飲食等 | 広小路界隈に分布 |
| | | 文化・集会等 | 御霊公園隣接 |
| | | 近隣駐車場 | 御霊パーキング215台、広小路パーキング26台、福知山アパレル(休日のみ)100台 |
| その他 | 中心市街地 | 周辺で街並み整備や活性化事業等 | |

(2) 立地

現厚生会館はJR福知山駅から北へ約1km、近年整備が完了した広小路通りの近く、御霊公園に隣接する中心市街地の一角にあります。

駅からは徒歩でアクセス可能なほか、厚生会館前にバス停留所があり、複数のバス路線により市内各所に通じています。

図2 建設予定地位置図（広域）



駐車場凡例

| | |
|--------------------------|---------------------|
| ⓅP1: タイムズ (計250台) | ⓅP2: コーナン (299台) |
| ⓅP3: 御霊パーキング (215台) | ⓅP4: 広小路パーキング (26台) |
| ⓅP5: 福知山アパレル (100台/休日のみ) | |

3 施設整備の考え方

(1) 周辺環境

建設予定地は御霊公園と幅 12m の前面道路を挟んで南北に向かい合い、敷地の東側には商店、飲食店や住宅などが並ぶ幅 5m の前面道路が接しています。

どちらの道路も市民の生活動線として交通量は多く、南側道路は隣地配送センター利用のため大型車両の往来もあります。

また、総合防災ハザードマップでは当該敷地は洪水浸水想定区域に位置しています。

図3 建設予定地位置図（近隣）



(2) 施設整備における留意事項

上記のような周辺環境などを踏まえ、施設整備においては以下の点に留意して計画します。

- ・御霊公園は日常的な市民の憩いの場であることと、近隣には一般住宅や施設があり、市民の往来の多いことから、建物による日影や圧迫感の軽減に配慮します。
- ・周囲の商店街や公園などとのつながりに配慮し、周囲ににぎわいが派生していく施設計画とします。
- ・搬出入する大型車両やバス、来場者の自家用車の集中による混雑や騒音、振動などの影響に配慮した計画とします。
- ・浸水が想定される敷地であることから、地域の防災拠点として機能する施設計画とするとともに、災害後も施設機能を損なわないよう対策を検討します。

(3) 施設配置計画

前述の施設配置検討にあたっての留意事項を考慮し、施設配置計画を進めるものとします。施設配置計画作成にあたって留意すべき事項は以下のとおりです。

- ・法的な制約から、フライタワー¹⁰などの建物の高さが高くなる部分は敷地の南側に配置する必要があります。
- ・100年に一度の大雨により想定される最大浸水深（3～5m、総合防災ハザードマップによる）では施設機能を損なわないように施設の階構成を検討します。

¹⁰ 舞台上部の、幕、照明、バトン等が吊られているスペース

第4章 管理運営に関する考え方

1 管理運営の基本的な考え方

(1) 管理運営の基本的な考え方

| |
|---|
| 1) 芸術文化と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供 |
| 文化振興の基盤となる環境づくりや持続的に活動が可能な仕組みを作るため、専門的な人材の配置等を含めた人員体制を検討し、鑑賞と体験機会を提供します。 |
| 2) 若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進 |
| 地域の若い世代が活躍できるよう、アウトリーチやワークショップなど若い世代が参加しやすい事業に取り組み、事業の企画段階から積極的な市民参加・参画を進めます。市民の主体的な活動につながるよう利用者間の交流を促進します。 |
| 3) 過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり |
| 特別なイベントがなくても、誰もが気軽に施設を訪れ、多世代で日常的に憩える空間づくりに努めます。 |
| 4) 福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり |
| 福知山市の地域資源の活用や連携によって独自の文化づくりや新たな魅力を創造していくため、福知山市の人材を含む資源の掘り起こしを行い、それらを有機的に結びつけることで、新たな作品や活動づくりを目指します。 |
| 5) 文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進 |
| 市内の様々な要素や他分野等と積極的に連携することによって、新文化ホールでの活動・にぎわいが施設内にとどまらず、まちへと波及し、まち全体の活性化につながります。 |

2 事業の方向性

(1) 管理運営の基本的な考え方に基づく事業の方向性

新文化ホールは鑑賞・体験・創造活動の環境の整備とともに、福知山市の文化芸術を推進する人材育成、交流、創造を目的とした事業の実施を基本理念に掲げています。

この基本理念及び管理運営の基本的な考え方を踏まえ、新文化ホールの事業の方向性を以下のとおりとします。

【新文化ホールの事業の方向性】

| | |
|---|--|
| 1) 芸術文化と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供 | |
| 鑑賞・体験事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興を目指した活動環境の整備、仕組みづくり ・文化活動をはじめのきっかけとなるような鑑賞・体験事業 |
| 2) 若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進 | |
| 市民参加推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が活躍し、多世代での市民参加を推進するための取組 ・市民参加で企画・制作・実施する事業 ・市民参加を実現するために必要となる育成講座やワークショップ事業 |
| 3) 過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり | |
| 交流促進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な憩いの場を提供するための取組 ・世代を問わず人が集まり、交流し、つながりを生む事業 |
| 4) 福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり | |
| 人材育成・文化創造事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の力で地域の文化を振興するための人材の育成事業 ・地域のアーティストや活動団体と地元の子どもたちをつないで、新たな作品や活動づくりを行う事業 ・地域資源を生かした福知山ならではの新たな文化の創造事業 |
| 5) 文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進 | |
| にぎわい創出・連携事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・新文化ホールが中心となってまちぐるみで実施し、まちなにぎわい活性化を図る事業 ・市内の学校や公共施設等、様々な対象と連携して行う事業 |

なお、新文化ホールで行う事業は主に「自主事業」と「貸館事業」に分かれますが、貸館事業においても上記の管理運営の基本的な考え方にに基づき、積極的に施設の利用促進等を行います。

3 運営組織等の方針

(1) 組織・体制の考え方

基本構想に掲げた「人材の育成」、「人と人、人と活動をつなぐ役割を担うコーディネーターの配置」、「市民参加の推進」を実現し、新文化ホールを福知山市の新しい文化、未来を創造する拠点とするため、国の動向や市の現況、後述する整備手法を踏まえて適切な運営方針を検討します。

(2) 管理運営手法

公共施設の管理運営手法は、大きく分けると「直営」と「指定管理」をはじめとした公民連携手法の2種類の選択肢があります。

一般的に直営では、施設の自主・貸館事業、施設管理などを一括して自治体が運

営を行います、その中の一部、舞台設備の操作・管理等の専門的な業務については、民間に委託していることとなります。

一方指定管理等の公民連携手法では、財団等の各種団体、民間企業、NPO 等が単独、または共同企業体を構成する指定管理者が、貸館、自主事業、施設管理等を一括して行います。

厚生会館は、多目的ホールであり、直営で貸館事業を中心とした施設運営を行ってきました。

新文化ホールは、福知山市における芸術文化、歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる文化振興を推進する拠点となるよう整備するものです。そのため、企画運営・維持管理両面で高い専門性と効果的、効率的で、安全性が確保できる管理運営手法とします。

【直営と指定管理の特徴】

| 項目 | 直営 | 指定管理 |
|--------|--|---|
| 経営視点 | × 予算の確保や運用面での縛りが多く、効率性や収益性のインセンティブが働きにくい | ○ 予算の柔軟な運用や効率的な運営が可能 |
| ネットワーク | ○ 文化政策や関連部署と連動性が高い | ○ アーティストの招聘・出演交渉に必要な人脈等をもっている |
| 自主事業 | △ 事業内容は職員の力量に左右される。専門の職員を雇用できる場合は、内容の充実、事業の継続性が確保できる | △ 法人形態（組織目的）によっては、非効率・不採算な事業には消極的になる ○ 他市・全国と同等の事業の提供が期待できる |
| 市民参加 | ○ 地域の実情を踏まえた運営や事業や市民協働が可能 | × 民間事業者にとっては負担が大きく、実現が難しい |
| 専門性の確保 | × 人事異動によるノウハウの継承が難しく、専門的人材の継続的確保が課題 | ○ 専門的人材・ノウハウを有し、質の高いサービスや事業の提供が期待できる × 指定期間による人材・事業の不安定化、終了・交代に伴う切替の混乱が生じる |

(3) 管理運営業務

管理運営に関する業務として、大きく以下の業務に分けられます。これらの業務は、それぞれに専門性を求められることから、各業務を異なる主体が担当する事例もあります。各業務の詳細な内容や人員配置については、管理運営業務全体の効率化や利用者へのサービス向上など、様々な観点から検討します。

【管理運営の主な業務内容】

| 施設 | 業務項目 | 業務内容 |
|--------|------------|---------------------|
| 全体 | ビルメンテナンス | 施設のメンテナンス、清掃、維持管理 |
| 劇場・ホール | ① 自主事業 | 各種事業の企画・制作・実施 |
| | ② 貸館事業 | ホール・各諸室の貸館の管理 |
| | ③ コーディネーター | 人材育成、相談窓口、講座の実施 |
| | ④ 舞台技術管理 | 舞台機構・音響・照明の運用など安全管理 |

4 施設の利用規則の考え方

新文化ホールでは、最新の舞台設備や照明・音響設備、機能的な練習室等の諸室を備えます。そのため利用方法の細かなルール作りや利用目的別の適切な料金設定等を検討します。

また、あらゆる市民にとって活動しやすい環境を整え、日常的な憩いの場として提供するため、利用時間や予約方法等、様々な利用に対応できる柔軟な運営の仕組みを作ります。

5 市民参加に関する考え方

管理運営の基本的な考え方に示しているとおり、新文化ホールの運営には、積極的な市民参加を行う方針としています。

大学生をはじめ地域の若い世代の中には、文化活動や地域活動への参加意欲が高い学生もあり、こうした人たちが活動に参加できるきっかけや仕組みをつくります。また、市のこれからの文化振興の担い手を育成していくためにも、若い世代が中心となって多くの市民が施設の運営や事業等の活動に参加できる施設とします。

開館後の市民参加による活動を推進するため開館前から新文化ホールの情報提供、共有を積極的に行い、開館後の市民参加の地盤づくりに取り組みます。

第5章 概算建設工事費と整備手法の検討

1 概算建設工事費

近年整備された劇場施設の実績から建設工事費単価を計算すると、1㎡当たり90～100万円となります。これに新文化ホールの想定延床面積5,000㎡を乗じると、建設工事費として、約45億～50億円が想定されます。

なお、この建設工事費は、今後の詳細検討や社会経済情勢の変化などにより変動する可能性があります。

このほか、設計費や解体工事費、駐車場など外構整備費、備品購入費などが必要となります。

なお、文化芸術会館等建設基金や国補助金や、有利な起債を活用するなど新文化ホール整備の財源確保について検討します。

2 施設整備手法の検討

(1) 直接発注方式と公民連携方式

公共施設の整備手法は大きく分けて、公共が設計施工等を単独事業として行う「直接発注方式」と、公共と民間事業者が適切な役割分担と連携のもとで事業を推進する「公民連携方式」があります。

直接発注方式には、設計施工等を個別に発注する「従来方式」と、設計施工を一括して発注する「デザインビルド（DB）方式」等があります。

公民連携型の一方式として、財政支出の削減・民間資金の活用および施設の管理運営への民間ノウハウの導入を目的として、設計施工から管理運営まで包括的に民間企業に発注するPFI方式があります。

PFI方式では一般的に、事業化の検討のための検討期間が必要となり、事業にかかる期間が長くなる傾向があります。本計画においては、現厚生会館の老朽化や、文化施設の早急な整備を求める意見もあることから、比較的事業期間を短くすることができる「直接発注方式」を採用することとします。

表 8 直接発注方式と PFI 方式の比較

| 方式 | 概要 | 資金調達 | 設計 | 建設 | 運営 | 留意事項 | |
|--------|--------------------------|------------|----|----|--------------|---|---|
| 直接発注方式 | 従来方式 | 設計施工を個別に発注 | 公共 | 公共 | 公共 | 公共または民間 | <ul style="list-style-type: none"> ○設計前に建設工事費が確定しないため、設計段階において市の方向性が確実に反映される ○業務が分割されるため、一般的に不調リスクが少ない ▲契約が分離されるため事業全体の民間活力導入による効率化は困難 |
| | デザインビルド方式 (DB方式) | 設計施工を一括発注 | 公共 | 公共 | 公共 | 公共または民間 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本設計を別にした場合、ある程度市の意向を計画に反映可能 ▲運営の発注が分離されるため事業効率化の効果は限定的 |
| PFI方式 | 民間事業者が資金調達から設計・建設・運営まで行う | 民間 | 民間 | 民間 | 民間 (一部公共もあり) | <ul style="list-style-type: none"> ○管理 (運営) まで一括発注のため、コスト削減や財政支出の平準化が期待できる ○施工や管理運営を考慮した設計が可能 ▲事業化の検討期間が必要なため、整備にかかる事業期間が長くなる ▲設計前に事業費が確定するため、設計段階での市の方向性の反映が難しい ▲民間資金活用のためコスト高の可能性あり (補助金対象が限定されるなど) ▲事業性が優先され、運営に十分な予算をかけづらい傾向がある | |

(2) 設計・建設方式

直接発注方式の場合、設計施工を個別に発注する従来方式と、設計施工を一括で発注するデザインビルド方式があります。

また、デザインビルド方式では、設計段階において市の方向性を計画に反映させることが難しくなることから、基本設計者を別に発注する方式も考えられます。ただし、基本設計者を別にする場合、発注手続きが増えることから、デザインビルド方式の工期短縮メリットは限定的になります。

以上のことから、本計画においては、設計の各段階において確実に方向性を反映できることと、発注までの期間を短く抑えることができることから、「従来方式」を採用することとします。

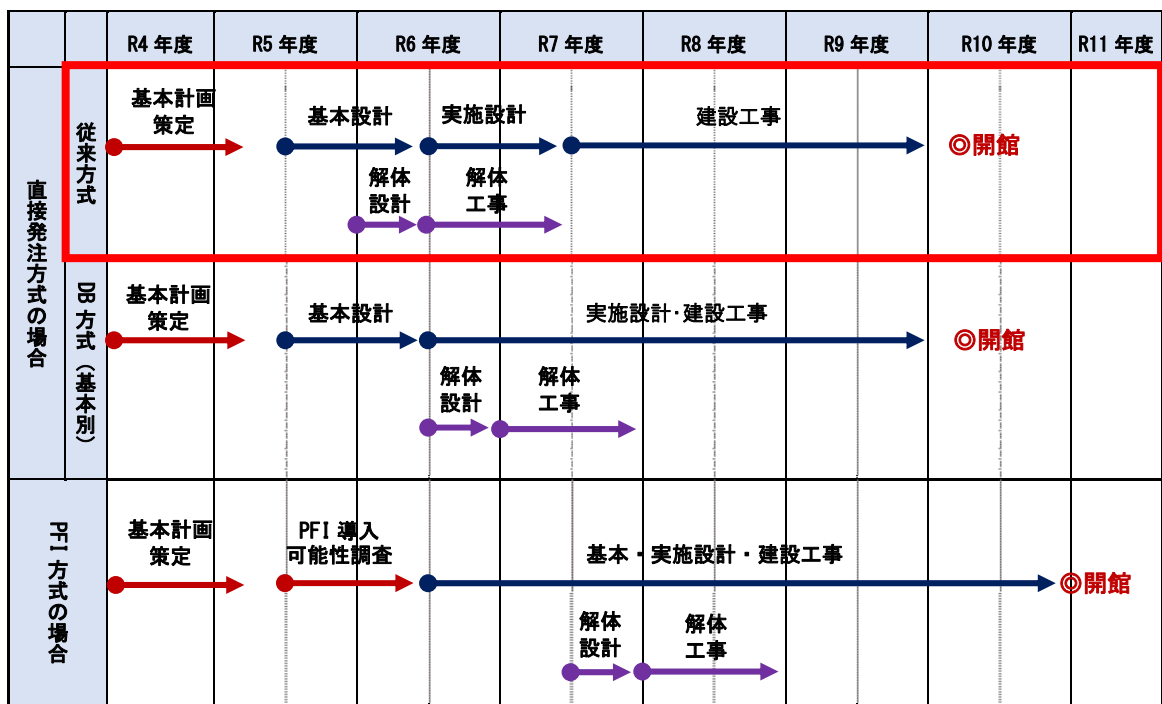
表 9 設計・建設方式の例

| 方式 | 概要 | 基本設計 | 実施設計 | 建設 |
|------------------|---|----------|------------|----------|
| 従来方式 | 基本設計、実施設計後に施工者を入札等で決定する | 基本設計者選定 | 実施設計者選定 | 施工者選定 |
| デザインビルド方式 (DB方式) | 設計・施工を一括で発注する。DB内に基本設計を含む場合と、実施設計から事業者を選定する場合がある。 | 設計・施工者選定 | 設計・施工者 | |
| | | 基本設計者選定 | 実施設計・施工者選定 | 実施設計・施工者 |

第6章 事業スケジュール

1 整備における事業スケジュール

基本計画の時点において想定する今後の事業内容及びスケジュールは以下のとおりです。



資料編

目次

- 1 福知山市新文化ホール基本計画策定経過
 - (1) 福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会
 - (2) 福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会委員名簿

- 2 市民ワークショップの概要（第3回～第5回）
 - (1) 実施概要
 - (2) 参加者の意見・アイデアなど

- 3 大学生ヒアリング結果概要
 - (1) 実施概要
 - (2) 活動状況・活動場所
 - (3) 新施設に望むことについて

- 4 高校生ヒアリング結果概要

1 福知山市新文化ホール基本計画策定経過

(1) 福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会

| 開催日 | 議事 |
|------------------------------|--|
| 第1回検討委員会 令和4(2022)年7月22日 | (1) 検討委員会委員長・副委員長選出 (2) 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討にあたっての経過 (3) 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討内容について (4) 文化芸術に関する社会的潮流の分析 (5) 厚生会館の現状と課題について (6) 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討スケジュールについて |
| 第2回検討委員会 令和4(2022)年8月23日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) 市内及び近隣市町ホールの現状 (3) 市民意見の収集状況 ヒアリング結果(中間報告) (4) 市民意見の収集状況 Web アンケート (5) 新文化ホールの役割(案) |
| 第3回検討委員会 令和4(2022)年9月20日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) 市民意見の収集(文化振興基本方針策定時の市民意向調査) (3) 市民意見の収集状況 ・ヒアリング結果(まとめ) ・Web アンケート(中間報告) ・市民ワークショップ(中間報告) (4) 新文化ホールの基本理念(案) (5) 施設等の概要(案) (6) 管理運営の考え方(案) |
| 第4回検討委員会 令和4(2022)年10月24日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) 基礎調査の補填 ・市民ワークショップの報告 ・Web アンケートの報告 ・市民交流プラザの開館と活動状況の変化 (3) 新文化ホール基本構想(案) |
| 第5回検討委員会 令和4(2022)年12月22日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) 基本構想(案)の確認 (3) 市民ワークショップの報告 (4) 基本計画(案)検討の進め方 (5) 施設機能の検討 |
| 第6回検討委員会 令和5(2023)年2月21日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) ヒアリングの報告 ・大学生ヒアリング ・高校生ヒアリング (3) 施設機能の検討 ・ホール機能 ・創造活動機能 ・交流機能 ・管理運営・防災機能 (4) 建設候補地の検討 |
| 第7回検討委員会 令和5(2023)年3月28日 | (1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認 (2) 建設候補地の検討 ・建設候補地の比較 |

| | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| | 【参考】施設規模 (3) 基本計画（案）検討の進め方 |
| 第8回検討委員会 令和5（2023）年4月27日 | |
| 第9回検討委員会 令和5（2023）年5月25日 | |
| 第10回検討委員会 令和5（2023）年7月〇日 | |

(2) 福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会委員名簿

| | 氏名 | 所属団体等 |
|-----------|--------|---|
| 委員長 | 本杉 省三 | 日本大学名誉教授 |
| 副委員長 | 前田 竹司 | 福知山市文化協会会長 |
| 外部 有識者 | 井出 亮 | 京都芸術大学京都芸術劇場（春秋座）プロデューサー |
| | 井上 直樹 | 福知山公立大学教授 |
| | 児玉 真 | （一財）地域創造プロデューサー （元）いわき芸術文化交流館アリオス・チーフプロデューサー |
| | 伊東 昌紀 | 福知山商工会議所青年部副会長 |
| | 桐村 操 | 福知山市合唱連盟副理事 （元）福知山淑徳高等学校 |
| | 谷垣 均 | 福知山市自治会長運営委員連絡協議会会長 |
| | 細谷 恵滋 | 市民公募委員 |
| | 松本 清香 | 市民公募委員 |
| | 夜久 豊基 | 福知山市社会福祉協議会会長 |
| | 吉田 佐和子 | （一社）福知山芸術文化振興会代表理事 （株）Locate11 代表取締役 |
| | 渡邊 尚生 | 福知山市副市長 |

※敬称略・五十音順

2 市民ワークショップの概要（第3回～第5回）

(1) 実施概要

| | | |
|-----|----------------------|-----------------------|
| 第3回 | 令和4（2022）年 9月29日 | 年間利用計画から必要な機能・規模を考えよう |
| 第4回 | 令和4（2022）年 11月14日 | 使いやすい諸室の配置を考えよう |
| 第5回 | 令和4（2022）年 12月13日 | 今後の市民参加について考えよう |

(2) 参加者の意見・アイデアなど

【新文化ホールに必要な機能・規模】

| 機能 | 内容 |
|---------------|--|
| ホール機能 | |
| ○ホールの種類・構成 | <ul style="list-style-type: none"> 大ホールと小ホール（メインホールとサブホール）、楽屋、ラウンジ（舞台袖） 中会場、小会場、他付属設備 【可動席】 <ul style="list-style-type: none"> サブホールが可動席、フラットにできる小～中規模のホール 小さな音楽会のできる小ホール（フラットの部屋） 【固定席】 <ul style="list-style-type: none"> 固定席のホール、可動席・可動舞台・セリは不要（荷物用はok） 【専用ホール】 <ul style="list-style-type: none"> 音楽専用ホールを建ててほしい、天井の高いコンサートホール 自信をもってアーティストに来て欲しいと言えるホール（音楽）が欲しい 舞台芸術に特化したホール |
| ○客席規模 | 【ホール一つの場合】 <ul style="list-style-type: none"> 500席規模でもいい 600～800席（市民利用しやすい規模）、700～800席、800席くらいの中ホール 800～1000席＋本物を呼ぶなら収容できる席数、1500席以上、1500～2000席 【ホールを複数もつ場合】 <ul style="list-style-type: none"> 大ホール 固定式 800席、小さいホール 可動式 200席 音楽系大ホール 800～1000席、中ホール 300席、小ホール 100席 |
| ○座席 | <ul style="list-style-type: none"> 正面ばかりでなくサイドのブロック席？バルコニー席？あったらいいな 座って幸せを感じる椅子のあるホール、座席間を広く（人が通りにくい） |
| ○音響 | <ul style="list-style-type: none"> 響き（残響）の良いホール、生演奏に適したもの→足を運ぶ価値があるホール 音響反射板スペシャル良質 |
| ○舞台 | <ul style="list-style-type: none"> 舞台の袖や奥行き広く、ステージ裏の通路は広めに（スタッフと出演者のため） 可動プロセニウム不要、演奏しやすいステージ、大鏡を舞台の袖につけてほしい |
| ○親子ルーム | <ul style="list-style-type: none"> 小さな子どもとともにステージを見れる部屋、客席後方に親子ルームがある 子どもが泣いてもステージが見られるガラス越しの親子ルームが欲しい |
| ○舞台設備 | <ul style="list-style-type: none"> 一流アーティストを呼んでも恥ずかしくない設備を持った会場 舞台設備は規模が小さくても本格的に、人力が少なく済むもの 照明と音響の充実、SUSバトン・美術バトン・オール電動化等 デジタル機器、アナログ機器を設置しやすくしたい ステージにワイヤレス機材を充実させたい（配線が手間） 舞台の後ろがガラス面でできていて、壁面が上がり外の景色が見える |
| ○照明 | <ul style="list-style-type: none"> SUSには持ち込み機材用に直電源 DMX の口、オール LED 化…長寿命、省エネ スポットを全て LED ムービング化…省エネ長寿命、省スタッフ化 |
| ○インターネット、最新技術 | <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi が安定している、e スポーツにたえるネット環境（パブリックビューイング） デジタル技術も活用できるステージ、舞台 配信によるコンサート、イベントが開催できるような最新技術の導入 |
| ○映像 | <ul style="list-style-type: none"> ステージの映像を投影する場所を柔軟にしたい 壁や床が無地（プロジェクションマッピングもどき） ホールに大きなスクリーン等 |
| ○オーケストラピット | <ul style="list-style-type: none"> オーケストラピット |
| ○ピアノ | <ul style="list-style-type: none"> コンサート用のグランドピアノ新品を購入してほしい（2台）、ピアノ庫 |
| ○搬入・動線 | <ul style="list-style-type: none"> 搬入口がステージ近くに欲しい、10tトラックが横づけできる搬入口 コンクール・コンテストができる動線に、正面玄関を通らず舞台へ |

| | |
|-----------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽屋の動線をお客様と会わないで行ける様に ・ 建物 1F:搬入口、2F:駐車場、3F 舞台ステージ |
| ○組織・運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術専門スタッフが常駐している(音響、照明、舞台)、ホール使用時技術者常駐 ・ 専門家も素人でも使用できるスタッフや運営の充実 ・ 担当者が市の職員の異動のようにすぐ異動することはダメ ・ 各小学校区に地域文化を育てる専門職員が地域住民をサポートする ・ 利用料を安く、使いやすくしてほしい |
| ○楽屋 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい楽屋と大きい楽屋(パートごとに使えるように)、人数によって対応できる ・ 良い楽屋、楽屋は3室以上、楽屋と集会を兼用できる部屋 ・ 楽屋にシャワー室とトイレがほしい、廊下に収納椅子を設置 ・ アップライトピアノを沢山設置(楽屋、リハ室用) ・ 荷物置き場をしっかりとって欲しい(出演者は大荷物を抱えている) ・ 楽屋はステージと同じ高さに、ステージの近くに配置する ・ 鏡付き室、服装チェック可、メイク室(=楽屋の拡大) |
| ○その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ロビー、ホワイエ(聴き取りやすい音響付き)、モニターを設置(進行状態を知る) ・ 貴重品預かり室 |
| 交流機能 | |
| ○交流・憩いの場 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化活動をする人たちの自由な溜まり場、催し物のコンシェルジュコーナーを作る ・ 事務局(文化協会その他の文化団体の交流を組織する) ・ 憩いの空間のあるスペース(自由に立ち寄れるスペース)、学生勉強スペース |
| ○子育て | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てスペース、育児室(0歳から5歳) ・ 子育て世代の休憩室(常備)トイレ等 |
| ○飲食店・ 飲食スペース | <ul style="list-style-type: none"> ・ レストラン併設、カフェ、ホワイエにレストランやコーヒー店がある ・ 喫茶的なスペースーほんの少しでもあり、飲食スペース、お茶できるスペース |
| ○売店 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ショップ併設、お土産屋 |
| ○地域交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生きがいづくり ・ 周辺地域を巻き込んで行うイベント ・ 一般のグループ、会社の忘年会等にも使える |
| 創造活動機能 | |
| ○多目的 スペース | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的に使える部屋、多目的スペース→足を運びきっかけとしては良さそう ・ 100人程度のイベントができるスペース |
| ○リハーサル室 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 100㎡~200㎡(合唱、合奏、吹奏楽+オーケストラのリハーサル) ・ リハーサル室 100㎡以上(音響設備付き) ・ 小ホールも兼ねるリハーサル室(エレベーター付きで楽屋と舞台袖をつなげる) |
| ○練習室・会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱のパート練習のできる部屋、気軽に歌えるところ、音響の差を肌で感じる ・ 防音室を設置、太鼓、バンド、ビックバンドの練習に使える ・ 個人で楽器の練習ができる部屋、いろんな楽器を試せる部屋 ・ 少人数練習室(1~3人)、個人練習ができる、防音、鏡大サイズ ・ 思い切り音を出したい、全身しっかり動かしたい、狭すぎない ・ 防音練習室数個(1つはピアノ付き) ・ ダンス練習もできる部屋 鏡、バー ・ 壁一面鏡とバーがついたバレエやダンスができる部屋 ・ 練習室 鏡、バー、ピアノ、ビデオ ・ 撮影・録音室 30~50㎡ ・ レコーディングできる室(50㎡) ・ 演劇や音楽の練習もできて合宿もできるような場所、いろんな活動ができる場所 ・ 気軽に習字ができるようなスペース いろんな筆、いろんな墨 ・ 和室、目的に応じて区切れるように ・ ミーティング会議のできる部屋、区切れる会議室(リハもできる) |
| ○展示スペース | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示スペース、練習室、会議室などで展示もできるようにする ・ 市展:舞台を地下に収納しフラットな会場、書道の会場を広く(玄関上に庇を出す) ・ 絵画や書道の写真などのグループ展や個展が可能な部屋 ・ 展示(照明、吊り金具 自動(電動))、自前で準備できるように環境を整える |
| ○展示内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展(海外文物、著名な作家の作品) ・ 民俗資料を活かした体験スペース、展示(特に福知山らしさを活かしたもの、養蚕、和紙、藍、うるし) ・ 福知山市らしく一市三町をひとつにまとめるコンセプト(由良川支流、古街道などの展示を壁面に) |
| 共用部 | |
| ○屋内 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示も工夫して使える広いホワイエ、ロビーが広く明るくロビーコンサートができる ・ 見回したときにいいなーと感じる内装 |

| | |
|----------|--|
| ○屋外 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 野外アート作品、屋外でもコンサートのできるスペース、ピアガーデン ・ 外で子どもが遊べるスペース |
| 施設全体 | |
| ○バリアフリー | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の方にやさしい気づかいのあるホール ・ どんな人でも利用しやすいユニバーサルデザイン ・ スロープを付けてください。(車いすや手押し車を押して進めるように) |
| ○トイレ | <ul style="list-style-type: none"> ・ なんととってもきれいなトイレ、洋式トイレ、女子トイレの数を多数 |
| ○アクセス・立地 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場を広く取って欲しい、公園を利用しての駐車場整備 ・ 駅に近いところがあれば人が来やすい、水害のない場所(被害防止) |
| ○地域との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域文化を各小学校区で子どもたちの教育に取り上げる ・ 地域と小学校をつなぐコーディネーターが必要 ・ 各小学校区に1つ地域文化、歴史の拠点施設を作る ・ 各小学校区の歴史、文化、展示スペース、福知山の歴史が分かるスペース |
| ○その他公共施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今歴史文化資料館がなくなっている、ちゃんとどこかに残す |
| ○その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在あるホールも活用できる使い分けができてほしい、どの館も生きるように ・ いろんな会場での機能分担 ・ ホールができて全てのイベントが新施設に集まって、他の館が廃れるとよくない |

【諸室の配置】

| | |
|--|---|
| | <p>かぼちゃグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台裏(楽屋等)の充実 ・ 音楽も演劇もできる練習室 ・ 市民が憩えるカフェや展示スペースを備えた交流部門 ・ 表と裏の動線の整理 <p>→ 交流部門を中心にホール部門、創造活動部門、運営部門すべてを有機的につなぐ</p> |
| | <p>いちようグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色々なジャンルで本格的に使えるホール ・ デジタル設備を備え、配信も可能に ・ 様々な目的で使える練習室 ・ 日常的な憩いの場としての交流部門 ・ 表と裏の動線の整理 ・ 人と人、活動をつなぐ人材の配置 <p>→ 良い施設をつくるだけでなく、人材の配置、運営の仕組みを整える</p> |
| | <p>もみじグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種練習室、スタジオ、展示室に必要な備品倉庫を備える ・ 様々な体験が可能なスペース、カフェ・レストラン等の店舗、福知山ならではの展示スペース、映像・収録スタジオ等を備える交流部門 ・ 屋外の活用 <p>→ 屋外の活用、交流部門の充実により、市民の交流の場となることを目指す</p> |

【市民参加のアイデア】

| 機能 | 内容 |
|----------------|---|
| 前提として求められること | |
| ○コーディネーターの設置 | <ul style="list-style-type: none"> 会場運営を補助する人の確保 アドバイザー制度を確立して意識の共有をしておかなければ運営が難しい！ |
| ○持続可能な文化の土壌づくり | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な福知山の文化の創造→新しい文化を地域から常に出る形にする →学校できちんと地域の歴史文化にふれる、学ばせる。教育委員会は、つよく地域づくりの視点を持ち、地域をつなぐコーディネーターを学校につくる(予算化) 多様な住民の意見をとりいれたワークショップ 高齢者、子ども、女性からの要望をまとめる 町づくりワークショップ(昔話、地域文化の専門家をつくる) 自由な参加の場を常につくる |
| ○人づくり人をつなぐ | <ul style="list-style-type: none"> 市民の意識調査の企画、まとめの活動 人と人、人と企画をつなぐためのワークショップに参加したい 会館の何かの運営のボランティアをしたい 多様なジャンルの専門家と市民をつなげるシステムを作る |
| 開館まで | |
| ○基本設計・実施設計段階 | <ul style="list-style-type: none"> 予算・場所・駐車場等を考えたときどうしても必要なホール、部屋、設備は何なのか十分検討ができる機会がほしい 基本設計の公開プレゼンがあると良い 設計者を絞り込む前のプレゼンを聞きたい 基本設計のワークショップ 基本設計が出たあとのワークショップがあるなら参加してみたい 設計者と市民の基本的要望事項の組み込みについて説明を聞きたい |
| ○管理運営の検討段階 | <ul style="list-style-type: none"> 他の会館のように月曜、もしくは月曜・火曜休館にしてでも日常の館の運営がしやすいようにしたらどうか？ 【運営方針に対する意見出し】 入れ物を作っても中味(文化)が無いことがないように 市民参加で「文化」が作り上げられる 運営方針に「志」を活かす方針確立！ 運営方針 大…オーケストラ、大合唱 中…バレエ、ダンス 小…能、狂言、人形劇 異動があってもぶれない組織をつくるため、管理運営の基本方針をしっかりと確立すること 使用者、観客としての約束を作る 管理により市民の使いやすい場所にする 使用料設定のいろんなパターンを作る 設備運用へのシニア募集も一案だと思う 【事業方針に対する意見出し】 「文化事業を育成」 絵画などの展示(天井あり、壁吊りの環境で) 市民参加の文化の風土を培う拠点に |
| ○開館準備段階 | <ul style="list-style-type: none"> 【イベント】 施設の愛称募集(賞品:お米、野菜等) 仮囲いアート(幼稚園児に描いてもらう)、仮囲いアートを幼稚園児、小・中学生に開放したい ピアノ弾き込みイベント 会館までの色々な話をドラマ化し、映画にする イベント計画、参加 イベントに市民参加は必要、高齢者や若者の意見を聞く 旧小学校区にある地域の歴史・文化を写真であらわす、一文キャプションで説明して展示する等、文化団体が行う 【市民参加に向けた育成の取組】 色々な勉強会が必要 アナウンス、照明等の育成講座を持ってほしい イベントの推進役の育成 専門スタッフを育成し、(専門家+市民)合同組織をつくる |
| 開館後 | |

| | |
|----------------|---|
| ○鑑賞・体験 | <p>【講座・ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生の吹奏楽のレベルアップのための教室を開く ・ 音楽、演劇、ダンス、色々なワークショップ ・ こけら落としイベントに市民参加 ・ お母さんと子どものためのコンサート ・ 色々なブースを作る(読書、飲食、ゲーム、運動、楽器、カラオケ、展示、勉強) ・ いろんな自主事業グループができるためのワークショップ ・ 地域歴史講座(小学生向け)小6以上、わかりやすい <p>【参加したいイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在実施している自主事業は引き続き実施してほしい <ul style="list-style-type: none"> ①文化公演自主事業 ②ガラコンサート ③スタインウェイを弾こう ④美術館コンサート(美術館が主催、会場) ・ 作家と鑑賞者が交流する展覧会 ・ 学校への文化推進 ・ 市民参加の映画会 <p>【友の会など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホールの“友の会”を作り、割安で鑑賞できる ・ 各種の舞台プログラムを観られるサブスク会員を集める |
| ○サポートスタッフ | <ul style="list-style-type: none"> ・ ホールの飾りを市民の手作りで ・ 福知山市内外の劇団を集めた演劇祭のための実行委員会 |
| ○事業の企画・推進役 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱祭を開く ・ 演奏家を呼んできて演奏会を開く ・ 飲食と演奏の融合 ・ 公開レッスンを開く ・ 「市民参加」を合唱祭、展覧会等の具体的なイベントで実現する ・ 市の持っている文化見本、民俗、歴史資料を定期的に展示し、図録を出す <p>【若い世代の参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽家のタマゴ(学生)たちのための企画 ・ 大学生による受験講座や大学生のための就活講座を開く ・ 高校生、大学生と飲食店が協力してオリジナル商品を作って販売 ・ 福知山公立大学情報学部の展示ブースを設けて、地域の人たちと交流 ・ 若者を企画・運営に参加させる |
| ○事業パートナーとしての参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家と市民により構成された運営委員会 ・ 運営委員の教育(運営を官僚的にしないことが重要) ・ 運営委員の構成に大胆に若者を入れる ・ 管理運営の中心的スタッフを市外含め選定し、地元スタッフの育成を図る ・ 市民が自らの文化を育てる基点になるように ・ 文化会館の進め方は「文化」を育てるといこと、意識高揚すべき |

3 大学生ヒアリング結果概要

(1) 実施概要

福知山公立大学の学生へヒアリングを実施し、厚生会館の利用状況および新文化ホールに望むこと等についての意見・要望等をお聞きしました。

| | |
|--------|----------------------------|
| 実施時期 | 令和4(2022)年12月13日 |
| 実施場所 | 厚生会館中会場 |
| 参加者の所属 | ダンス、野球、バドミントン、吹奏楽、軽音楽(計6名) |

(2) 活動状況・活動場所

ダンスサークルは、基本的に大学で活動を行っており、日常の練習は大学の練習室を利用しています。主な発表の場は学祭で、駅南の広場を発表の場としています。

吹奏楽サークルは、福知山吹奏楽団とのつながりがあることから、楽器と練習場を借り、学祭以外にも吹奏楽団の公演への参加、地域での公演を依頼される等、発表の場が多いです。新文化ホールの整備後、日常の練習場所として利用される可能性は低いですが、発表での利用は想定されます。

【活動場所まとめ(公演・発表利用)】

●演奏会・発表会等 ▲展示 □式典・集会等

| | 厚生会館 | | ハビネス | 交流プラザ | その他 |
|-------|--------------------|------|------|-------|---|
| | ホール | 中会場等 | | | |
| 舞台芸術系 | ●吹奏楽の定期演奏会 ●ダンス | | | | ●駅南の広場(ダンス) ●各地域の公民館(吹奏楽) ●小学校(吹奏楽) |

【活動場所まとめ(日常利用)】

●演会・練習等 ▲作品制作・練習等 □会議・勉強会等

| | 厚生会館 | | ハビネス | 交流プラザ | コミセン等 | その他 |
|-------|------|------|------|-------|-------|--------------------------------------|
| | ホール | 中会場等 | | | | |
| 舞台芸術系 | | | | | | ●福知山公立大学練習室(ダンス) ●福知山吹奏楽団練習室(吹奏楽) |

(3) 新施設に望むことについて

ソフト面では、学生バーや学生プロジェクトとの連携等、学生ならではの意見をいただきました。

ハード面では、カフェ等の安価な飲食店を併設するか、近隣にあれば、大学生が集まりやすいが、そもそも移動手段が限られているため、自転車で行ける場所でない、来訪が難しいということが明らかになりました。

【新施設に望むこと】

| | |
|------|--|
| ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> 学生バー(大学生が運営に参加することも可能。) 現在大学で行っている学生プロジェクト等との連携(学生プロジェクト…学生がイベントを企画、審査を受けて予算をもらって活動を行っている。(福知山城のプロジェクションマッピング、カーシェアリング、バーチャル福知山フェス等)) |
| ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> 自転車で行ける場所 脇花道 照明・音響設備を充実して欲しい 公演のために吹奏楽や軽音の機材搬入ができる搬入口が欲しい まわりに飲食店などが多い方が良い、カフェ併設 ロビーに展示スペース |

4 高校生ヒアリング結果概要

(1) 実施概要

福知山公立大学の学生へヒアリングを実施し、厚生会館の利用状況および新文化ホールに望むこと等についての意見・要望等をお聞きしました。

| | |
|--------|---|
| 実施時期 | 令和5(2023)年2月3日 |
| 実施場所 | 福知山淑徳高等学校、京都共栄学園高等学校 |
| 参加者の所属 | 和太鼓(福知山淑徳高等学校和太鼓部)、吹奏楽(京都共栄学園高等学校吹奏楽部)、ピアノ(個人の習い事)、合唱(和太鼓部との兼部)(計 生徒15名、顧問3名) |

(2) 活動状況・活動場所

和太鼓部、吹奏楽部ともに様々な場所で活発に活動を行っています。

吹奏楽部は、市内に限らず多くの施設でホール練習を行っており、今後の活動を支えるためにも、厚生会館舞台よりも奥行のある吹奏楽の練習が行える施設が必要とされます。現状、厚生会館でも定期的な発表が行われており、新文化ホールは、高校生の発表の場としての役割も期待されます。

【活動場所まとめ(公演・発表利用)】

| |
|--|
| |
|--|

【活動場所まとめ(日常利用)】

| |
|--|
| |
|--|

(3) 新施設に望むことについて

ソフト面では、若い世代が集まるための SNS 活用のアイデアや運営への参加等、高校生の視点で意見をいただきました。

ハード面では、これまでのワークショップやヒアリングと同様に段床客席や音響の良さ、動線の確保、様々なことに利用できる各種スペース、カフェの併設等の意見があがりました。

【新施設に望むこと】

| | |
|------|--|
| ソフト面 | <ul style="list-style-type: none">・ 旬なバンドや歌手のコンサート・ ライブビューイング・ ホール全館で一つのテーマに沿って盛り上げられるようなイベント・ SNS で発信したら若者が集まる・ 施設の運営等様々な活動に参加してみたい |
| ハード面 | <ul style="list-style-type: none">・ 今の厚生会館ぐらいの駅から近い場所・ 段床客席・ ステージ裏や舞台袖を広くしてほしい・ ステージの奥行を広くしてほしい・ 楽屋の数、広さを充実させる・ 音響の良いホール・ 小規模な公演も行えるような会場もほしい・ 搬入口や搬入動線の確保・ 小さい子どもが室内で遊べるスペース・ 福知山城のように地域の歴史を知れるスペース・ ホワイエ等の共用部に展示スペース・ 飲食や会話、勉強が自由にできる共用スペース・ 作曲したり歌ったりできる場、収録スタジオ・ 高校生が立ち寄りたくなるようなおしゃれなお店を併設・ カフェ・ 明るい印象の内装・ バリアフリー（段差がなく、トイレの数を増やす）・ 景観の良い場所 |